

一緒に立正大学ラグビー部を
応援しませんか?
ご興味のある方は立正大学総務課まで
ご連絡ください!

立正大学総務課
☎048-536-6010
〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700

後援会報

RISSHO UNIVERSITY RUGBY FOOTBALL CLUB

VOL.
19

令和4年8月発行



立正大学ラグビー部
後援会運営委員
藤沢裕文

藤沢裕文

令和3年度より立正大学ラグビー部後援会の運営委員に任命されました藤沢裕文と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私がラグビーと出会ったのは高校生の時でした。当時はルールも分からずに泥まみれになりながらただひたすらに楕円球を追いかけていました。【耐えて勝つ】を3年間信じ続けて掴んだ憧れの花園、今では良い思い出です。

コロナ禍が未だ続く中、国民全体が困難しており、アノノマルからニューノーマルの時代と変化を強いられている昨今、私たちに元気を与えてくれたの



立正大学ラグビー部 部長
清水海隆

清水海隆

立正大学ラグビー部部長の清水海隆(社会福祉学部)でございます。ラグビー部は、現在、部長と宮崎善幸副部長(データサイエンス学部)の2名体制の下、現場スタッフとの連携により、立正大学における部員の生活全般および学習の支援を行っています。立正大学ラグビー部後援会会員の皆様には、日頃より本学ラグビー部に対し、多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、すでに皆様には十二分にご理解いただい

は「立正大学ラグビー部男子1部リーグ昇格!」のニュースでした。ここ数年はあと一歩のところでの2部残留が続いており、無念の気持ちが続いていたと思いますが、選手それぞれの主体性を発揮し見事にその目標を達成した功績は感動さえ覚えませんでした。改めて1部昇格誠におめでとうございます。

ラグビーワールドカップ2019で日本中が盛り上がり、この熊谷市においても数多くの外国人観光客やラグビーファンが訪れ、街全体がラグビー一色に染まったのも記憶に新しいところでありました。今までラグビーを知らなかった方もラグビーを楽しむようになり、「わかファン」という言葉が流行り、日本代表を数多く輩出している埼玉ワイルドナイツがジャパンラグビーリーグワンで初代王者に輝くなど、ラグビーを話題とした明るいニュースがラグビータウン熊谷の一市民として誇りに感じています。

ラグビータウン熊谷の新たなレガシーの創出に向けて、スポーツと地域社会と行政との融合でまちの活性化を目指すスポーツコミッションが活動している中、いかにして観戦客呼び込みか、いかにしてスポーツを通じて街の活性化に繋げるか、課題も山積していますが、まずはラグビーの試合を観戦してもらい、いかにファンから真のファンへと導けるよう後援会の一員として努力して参ります。

最後に、立正大学ラグビー部更なる飛躍、関係者の皆様の益々のご健勝と、選手の皆様とそのご家族様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。

おります通り、男子におきましては昨年12月の1部2部入替戦に勝利し、8シーズンぶりの1部復帰を果たしました。これもひとえに皆様の「ご支援・ご声援の賜物と感謝いたしております。また今年度に入つてからは、春の関東大学春季交流大会において、Cグループ2位という結果を残し、秋の大会での活躍を予感させるものとなっております。

一方、女子も順調な滑り出しを得ており、先日の第9回大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会では4位という成績を収めており、また7月24・30日行われた15人制の日本代表対南アフリカ代表戦には在学生・卒業生を合わせ、多くの者が招集されました。

さて、コロナウイルス感染症の流行はなかなか終息を迎えてくれません。大学の授業は4月より教室における対面授業となりました。しかし、直近では倍々ゲームのように感染者増が報道されており、予断を許さない状況であると認識しております。今後とも感染予防に注意し、部員の体調管理に留意しつつ、学生の指導を心がけたいと思います。後援会会員の皆様には、学生ラグビーの健全な継承のために、今後とも本学ラグビー部の活動に一層のご支援・ご協力をいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。



立正大学ラグビー部 監督

堀越正己

いつも立正大学ラグビー部をご支援いただき心より感謝申し上げます。

昨シーズンは8年ぶりの1部昇格を果たし、後援会の皆様と共に喜びを分かち合うことが出来たことをチーム一同心より嬉しく思っております。今季も「主体性」をスローガンに置き、意識改革を実現するために勉強会を重ねてきました。また、目標とする大学選手権出場を勝ち取るためには、まだまだ多くの課題がありますが、中でも下級生の成長はチーム力の底上げを図るためにも必要不可欠だと感じています。秋にはチーム全員の力を結集し、最後まで諦めない「僅差で勝つ」ラグビーをお見せ出来ると確信しています。私自身も秋本番を待ちきれないほどワクワクしています。今季も変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。



立正大学ラグビー部女子
ヘッドコーチ
小松大祐

日頃より立正大学ラグビー部、ラグビー部女子の多大なるご支援、ご声援をいただきありがとうございます。

「Hard Work」や「Breakthrough」をテーマに、選手たちは主体性をもって、日々厳しい練習でも言い訳をせず着実に成長してくれています。

7月16、17日で行われた大学女子7人制交流大会では、惜しくも4位という結果ではありましたが、出場できる部員が限られている中、各部員がそれぞれの役割をやりきり、現段階で持っている力を全てを発揮してくれました。

ラグビーW杯3ヶシーズン大会に向けた女子15人制代表候補合宿には3名の部員が選出され、チームを代表して戦ってくれています。

コロナ禍の中、活動を継続でき、部員が日々成長できていることも、皆様からのご支援ご協力をはじめ、私たちが支えてくださっております全体的な方々のおかげであると感謝しております。今後とも変わらぬサポートをよろしくお願い致します。



立正大学ラグビー部
男子主将

陣内源斗

日頃より立正大学ラグビー部を応援していただきありがとうございます。

今年も未だコロナ禍により、厳しい状況が続いておりますが、無事春シーズンを終えることができました。弊部は、昨年度の末に念願の1部リーグ昇格を果たすことができました。今年度は「大学選手権出場」という、更なる高みを目指し日々活動しております。今年の春シーズンは、春季大会や立正大学150周年記念試合を通じ、弊部のゲームコンセプトである「前に出る攻守」の体現に近づくことができたシーズンでした。また、春に明確になったチームの課題を修正し、本シーズンを迎えたいと考えております。そして、目標である大学選手権出場を果たすため、一戦必勝に努めて参ります。



立正大学ラグビー部
女子主将
松井溪南

いつも立正大学ラグビー部を応援してくださり、ありがとうございます。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大も昨年度より落ち着き、活動の幅も広がりました。

昨年の学生交流大会では、準優勝という悔しい結果で終わってしまい、その悔しさを晴らすために、今年度は、「Hard Work」をチームテーマに掲げ、大学日本一を目標に日々練習に取り組まれました。

4位で大会を終え、私たちが望んでいた結果には届きませんでしたが、この悔しさを無駄にせず、来年に繋げられるように精進してまいります。

また、1人でも多く日本代表として活躍できるように、目標を高く持ち、切磋琢磨していきます。支えてくださっている全ての方への感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていきます。今後とも皆さまからの変わらぬご支援、ご声援の程宜しくお願い致します。

令和3年度 立正大学ラグビー部後援会決算報告

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

【収入の部】				
科目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度繰越金	466,740	466,740	0	
年会費	2,100,000	1,616,000	△484,000	個人会員 203件 673,000 法人会員 88件 943,000
総会・激励会参加費	410,000	0	△410,000	
大学より協力費	200,000	200,000	0	
雑収入	50,000	0	△50,000	
合計	3,226,740	2,282,740	△944,000	

【支出の部】				
科目	予算額	決算額	増減	摘要
補助費	1,300,000	1,300,000	0	ラグビー部への補助(男子:1,100,000 女子:200,000)
事業費	740,000	100,000	△640,000	
会報等発行費	200,000	137,940	△62,060	会報vol.18
事務費	150,000	122,792	△27,208	郵送料
会費振込手数料	35,000	28,685	△6,315	
予備費	801,740	0	△801,740	
合計	3,226,740	1,689,417	△1,537,323	

【決算の部】				
収入	支出	差引残高(次年度繰越金)	摘要	
2,282,740	1,689,417	593,323	事務局現金残高 431,767	振替口座残高 161,556

令和4年度 立正大学ラグビー部後援会予算

令和4年4月1日から令和5年3月31日

【収入の部】				
科目	本年度予算	前年度予算	増減	摘要
前年度繰越金	593,323	466,740	126,583	
年会費	2,100,000	2,100,000	0	個人会員 (250件×@3,000) 750,000 法人会員 (135件×@10,000) 1,350,000
総会・激励会参加費	470,000	410,000	60,000	第1回運営委員会:(20名×@3,000) 60,000 第2回運営委員会:(20名×@3,000) 60,000 激励会:(45名×@5,000) 225,000 合宿激励ツアー:(25名×@5,000) 125,000
大学より協力費	200,000	200,000	0	
雑収入	50,000	50,000	0	総会・激励会表賀
合計	3,413,323	3,226,740	186,583	

【支出の部】				
科目	本年度予算	前年度予算	増減	摘要
補助費	1,300,000	1,300,000	0	ラグビー部への補助(男子・女子)
事業費	930,000	740,000	190,000	第1回運営委員会 90,000 第2回運営委員会 90,000 合宿激励ツアー 300,000 / 激励会 350,000 大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会への支援 100,000
会報等発行費	200,000	200,000	0	会報製作・印刷代
事務費	150,000	150,000	0	通信費、事務用品購入等
会費振込手数料	35,000	35,000	0	郵便振込
予備費	798,323	801,740	△3,417	
合計	3,413,323	3,226,740	186,583	

令和4年度 関東大学春季交流戦大会試合結果

立正大学は3勝1敗でCグループ2位で終了

日程	勝敗	スコア	対戦相手
4/24	●	立正大学 22 - 29	東洋大学
5/8	○	立正大学 41 - 17	立教大学
5/22	○	立正大学 21 - 0	青山学院大学
6/4	○	立正大学 68 - 14	中央大学
6/19	○	立正大学 71 - 21	成蹊大学

FROM COACHES



ラグビー部男子 コーチ

名前:菅原 久平
出身地:秋田県
出身校・チーム:秋田県立秋田工業高等学校
→立正大学(立正大学大学院)→現 八雲学園中学校高等学校 副校長
後援会の皆様、日頃より力強いご支援をいただき誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。お陰様で2022年度シーズンは8年ぶりに戦いの場を1部リーグに戻すこととなりました。近年はリーグ戦グループに所属する各チームの実力が拮抗しており、1部復帰即上位進出のチャンスも十分にあると考えています。大学選手権を明確なターゲットにして取り組む学生たちに、引き続きのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



ラグビー部女子 S&Cコーチ

名前:折笠 章太
出身地:埼玉県
出身校:帝京平成大学
資格:JATI認定トレーニング指導者
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
後援会の皆様からいただく暖かいご支援に、熱い応援に心より感謝申し上げます。S&Cコーチとして選手の身体の強化、コンディショニング、怪我予防を主に担当させていただいております。部の目標の一つでもあります「立正大学の学生として世界に挑戦する選手の育成」に少しでも貢献し、私自身も選手と一緒に成長できるような日々を過ごしております。今後皆様からの変わらぬ熱い応援をお願い致します。

令和4年度新入部員

今年も28名の精鋭が、立正大学ラグビー部の門を叩きました。応援、宜しくお願いいたします！

ポジション	名前	出身校	ポジション	名前	出身校	ポジション	名前	出身校
男子			男子			男子		
PR	多田 翔一朗	御所実業	SH	真田 晃守	尾道	FB/SO	川添 道	日本航空石川
	國松 明拓	御所実業	SO	桐原 笙銀	熊本西	CTB/FB	山田 雄己	湘南工科大学
	上野 颯也	深谷		進藤 虎河	東福岡	WTB/FB	角田 洗晟	中標津
PR/HO	井川 桃大朗	東福岡	WTB	内田 彩紫	筑紫	ポジション 名前 出身校		
LO/NO8	奥山 寿孝	日川		榎岡 大輝	秋田工業	女子		
LO	田中 悠功	和歌山工業	CTB	井村 柗太	東福岡	FL	宮波 ひなの	四日市マリノール
FL	南澤 修斗	湘南工科大学		ツバサ	ジグザグ	SH	農山 紗叶	石見智翠館
	馬越 涼	大分東明	CBT/FL	鈴木 大登	尾道	SH/SO	向井 楓葉	京都成章
FL/NO8	井上 寿裕	御所実業	WBT/FB	林 二刀流	大島	SO/FB	園村 音羽	京都成章
SH	山口 蒼太	東福岡	WTB	前川 幹太	福岡工業	CTB	永山 風桜	石見智翠館

令和4年度関東大学リーグ戦 1部 公式戦日程

日時	開始時間	対戦相手	試合会場
9月11日(日)	15:00	日本大学	熊谷ラグビー場
9月24日(土)	15:00	東海大学	熊谷ラグビー場
10月1日(土)	13:00	関東学院大学	小田原市城山競技場
10月16日(日)	11:30	大東文化大学	セナリオハウスフィールド三郷
10月30日(日)	13:00	法政大学	セナリオハウスフィールド三郷
11月13日(日)	14:00	流通経済大学	足利ガスグラウンド(田原上競技場)
11月27日(日)	11:30	東洋大学	江戸川区陸上競技場

※試合会場、日程は変更になる可能性があります。
※全試合有料試合となります。
チケット詳細は関東ラグビーフットボール協会ホームページをご確認ください。



熊谷ラグビー場へ応援に行こう！

令和4年度 ジュニア選手権 カテゴリー3公式戦日程

日時	開始時間	対戦相手	試合会場
9月18日(日)	12:00	東洋大学	東洋大学G
10月23日(日)	12:00	関東学院大学	関東学院大学G
11月6日(日)	12:00	大東文化大学	立正大学G
11月20日(日)	12:00	中央大学	立正大学G

※試合会場、日程は変更になる可能性があります。

男子 目標は大学選手権出場！

春シーズンは、2月からS&Cトレーニングに取り組み、5月から練習試合を開始し、チームの強化に励みました。春季大会では、2位という結果に終わり、課題と成果を得ることができました。秋のリーグ戦に向けて、今一度体づくりに重点を置き、日々の練習に取り組んでおります。今シーズンは、大学選手権出場を目指して部員、スタッフ同一生懸命取り組んでいきます。



女子 いざ、世界へ挑戦！

7人制については、5月6日の太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ、7月の大学女子交流大会を目標に身体づくりを主にトレーニングに取り組んでまいりました。太陽生命ウィメンズセブンズシリーズは社会人選手と参加し6位、7月に本学にて開催された大学女子交流大会は大学生単独で挑戦し4位という結果でした。少しずつではありますが、コロナ禍前の活動ができてきている状況の中で全部員が一つの目標に向かって努力してきました。また、今年度は日本を代表する選手として、15人制ワールドカップ、7人制ワールドカップと立正大学から世界へ挑戦する学生もおります。皆様からのご支援、ご声援よろしくお願い致します。

立正大学ラグビー部後援会 Facebookのフォローをお願いします！

令和2年度より立正大学ラグビー部後援会Facebook開設し、公式戦情報を中心にアップしています。QRコードよりアクセスの上、ご確認ください。皆さまのページフォローをよろしくお願いいたします！

